

S-TEAM 教育推進事業 「STEAM」 推進プロジェクト
外部連携支援事業（学校活用型）実施報告書

| | |
|------|--|
| 学校名 | 北海道蘭越高等学校 |
| 実施日時 | 令和 6 年 12 月 20 日（金） 13:15～15:15 |
| 講師 | 札幌大谷大学 社会学部 地域社会学科 講師 上戸 理恵 連絡先 011-742-1968（研究室直通）rie_ueto@sapporo-otani.ac.jp |
| 実施概要 | <p>1 ねらい</p> <p>(1) 各教科や部活動で行ってきた調査・研究・活動の成果を発表する。</p> <p>(2) 発表の場を通じて、生徒の言語活動の充実を図る。</p> <p>2 日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5 校時 1・2 年生発表 ・ 6 校時 3 年生発表 講評・助言 <p>3 発表等の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 年生 RS（総合的な探究の時間） ・ 2 年生 地域と自然（課題研究） インターンシップ 見学旅行 ・ 3 年生 保育基礎 フードデザイン 国語課題研究・コンテンツの制作と発信（学校ポスター制作） ・ 講評 助言 <p>4 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校の探究活動全体の状況や評価に加え、グループ毎に疑問点や改善のためのポイントについて助言を受けることができた。 <p>(1) 評価内容</p> <p>身近な対象やテーマを深く掘り下げようとする姿勢が感じられる発表が多く、好感がもてた。学んだことをアウトプットする過程で学びを深めたことが伺えた。写真の使い方も上手だった。</p> <p>(2) 助言（今後の学びに向けて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力的なストーリーを作ること（一貫した流れを作る、論点を明確にすること）。 ・ 具体化と抽象化について検討すること（どこまで具体化し、どこまで抽象化するか検討すること）。 ・ 身近なものを通じて、より広範な「社会」の問題を考えること（身近な世界と遠い世界のつながりを意識すること）。 ・ 対話から生まれる成果を自分の中に取り込むこと（高校卒業後の学びにつなげるため、対話の具体的な方法や対話から得たアイデアを形にする方法を学ぶこと）。 |

